【SR-7　評価シート　エビデンス総体】

診療ガイドライン	センチネルリンパ節に転移を認める患者に対して腋窩リンパ節郭清省略が勧められるか （マクロ転移を認
対象	センチネルリンパ節に微小転移を認める患者
介入	非腋窩郭清（＋腋窩照射）
対照	腋窩郭清

＊バイアスリスク，非直接性
各ドメインの評価は「高（−2）」，「中／疑い（−1）」，「低（0）」の3 段階。
まとめは「高（−2）」，「中（−1）」，「低（0）」の3 段階でエビデンス総体に反映させる。
＊＊上昇要因
各項目の評価は「高（+2）」，「中（+1）」，「低（0）」の3 段階。
まとめは「高（+2）」，「中（+1）」，「低（0）」の3 段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとめる。

エビデンス総体

								リスク人数（アウトカム率）											
アウトカム	研究デザイン／研究数	＊バイアスリスク	＊非一貫性	＊不精確性	＊非直接性	＊その他（出版バイアスなど）	＊上昇要因（観察研究）	対照群分母	対照群分子	（%）	介入群分母	介入群分子	（%）	効果指標（種類）	効果指標統合値	95%信頼区間	＊＊エビデンスの強さ	＊＊＊重要性	コメント
全生存率が劣る(害)	RCT3つ	0	-1	-1	-1	0		1408	184	13.1	1347	162	12				中(B)	9	
腋窩再発率が劣る(害)	RCT3つ	0	-1	-1	-1	0		1408	11	0.78	1347	61	4.5				中(B)	8	
リンパ浮腫の低下(益)	RCT4つ	-1	0	-1	-1	-1		933	123	13.2	909	41	4.5				中(B)	7	
手術合併症の低下(益)		-1	0	-1	-1	-1												7	評価項目に一貫性がなく数値の統合困難
コスト																		5	RCTでは評価されていない
リンパ浮腫の低下（観察研究）	1つ													HR	1.33	0.64 to 2.78	弱（C）	7	ALND alone vs SLNB+RLNR

コメント（該当するセルに記入）

全生存率が劣る(害)			各試験で対象と術式	予定症例数を達成せ	ITC,micro,ma													
腋窩再発率が劣る(害)			各試験で対象と術式	予定症例数を達成せ	ITC,micro,ma													
リンパ浮腫の低下(益)		試験によって詳細が		試験によって詳細が	ITC,micro,ma	試験によって詳細が													
手術合併症の低下(益)		試験によって詳細が		試験によって詳細が	ITC,micro,ma	試験によって詳細が													
コスト																		
リンパ浮腫の低下（観察研究）																		